ヒヤリ・ハット報告書

氏名：　　会社名：

いつ　　年　　月　　日（　月　）　　時　　分　頃

どこで？
現場

だれが？
作業員が

何をした？
重機旋回の時に旋回の中に入っていた

どういう問題があったか？
重機と作業員が接触しそうになった

☑ 環境　☐ 設備　☐ 作業方法

今後どうすれば回避できるか？
重機旋回時は人払いをする

心理分析

1. よく見えなかった
2. 気づかなかった
3. 忘れていた
4. 知らなかった
5. 深く考えなかった
6. 大丈夫と思った
7. 無意識に手が動いた
8. やりにくかった
9. 体のバランスを崩した
10. あわてていた
11. 不愉快なことがあった
12. 疲れていた
13. その他

上司のコメント
重機旋回範囲立入禁止バーを超えて作業する手元がたまに見られるが
監視人は注意喚起をして人払いをすること

対策　　実施（要 ・ 否）　期限　　年　　月　　日迄　　チェック者

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：　　会社名：

いつ　　年 8 月　　日（月）　　時　　分頃

どこで？　現場内

だれが？　自分が

何をした？
ダンプの誘導をしているとき

どういう問題があったか？
反対側のAバリが倒れそうになった

☐ 環境 ☐ 設備 ☑ 作業方法

今後どうすれば回避できるか？
Aバリをとおりを通して並べておく

心理分析

(1) よく見えなかった　(2) 気づかなかった
3. 忘れていた　4. 知らなかった
5. 深く考えなかった　6. 大丈夫と思った
7. 無意識に手が動いた　8. やりにくかった
9. 体のバランスを崩した　10. あわてていた
11. 不愉快なことがあった　12. 疲れていた
13. その他

上司のコメント
誘導の際は運転者と移動する場所等を打ち合わせして行うこと

対策　実施（要 ・ 否）　期限　年　月　日迄　チェック者

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：　　会社名：

いつ　　年　　月　　日（　月　）　　時　　分　頃

どこで？
東北自動車道上り線

だれが？
作業員が

何をした？
道路走行中にカッターマシンのビニールカバーが
風にあおられ飛びそうになっていた

どういう問題があったか？
カバーはバンドで固定していたが固定していた場所が
上の方だった為上がってしまった

☐ 環境　☐ 設備　☑ 作業方法

今後どうすれば回避できるか？
バンドの固定はしっかりと根元で行い、必要な場合は2ヶ所固定する

心理分析

1. よく見えなかった
2. 気づかなかった
3. 忘れていた
4. 知らなかった
5. 深く考えなかった
6. 大丈夫と思った
7. 無意識に手が動いた
8. やりにくかった
9. 体のバランスを崩した
10. あわてていた
11. 不愉快なことがあった
12. 疲れていた
13. その他

上司のコメント

運転前の荷の点検は確実に行うこと

対策　　実施（要　・　否）　期限　　年　　月　　日迄　　チェック者

ヒヤリ・ハット報告書

氏名：　　会社名：

いつ　　年　　月　　日（月）　　時　　分頃

どこで？　大型店舗駐車場内で

だれが？　自分が

何をした？　構内表示に従って運転していたが、突然左方向から
表示を無視した車が入り込みぶつかりそうになった

どういう問題があったか？
常に利用している駐車場のため大丈夫だろうと思っていた

☑ 環境　☐ 設備　☐ 作業方法

今後どうすれば回避できるか？
たくさんの車が集まる大型駐車場ではたとえ空いていても
他車に注意し徐行運転をする

心理分析

(1.) よく見えなかった　　(2.) 気づかなかった
3. 忘れていた　　4. 知らなかった
5. 深く考えなかった　　(6.) 大丈夫と思った
7. 無意識に手が動いた　　8. やりにくかった
9. 体のバランスを崩した　　10. あわてていた
11. 不愉快なことがあった　　12. 疲れていた
13. その他

上司のコメント

かもしれない運転を常に心に置くこと

対策　　実施（要 ・ 否）　期限　　年　　月　　日迄　　チェック者

会社名			報告年月　　年　　月　　日

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

熱中症対策の徹底　です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

こまめな水分補給、休憩をとる　睡眠を充分に取る

監査結果

危険有害要因を　☑防止できました。

☐防止できませんでした。

防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	落下物による事故防止の徹底	運転前の積荷の点検を確実に行う	ヒヤリハット事例があったため

会社名			報告年月　　年　　月　　日

危険有害要因監査結果表

当社の前月の起こりうる危険有害要因は、

熱中症の防止　です。

危険有害要因を排除するために、以下の防止策を設定し、監視しました。

こまめな水分補給と休憩の実施

監査結果

危険有害要因を　☐ 防止できました。

☐ 防止できませんでした。 ⇒

防止できなかった場合

発生事例
どうすれば防止できたか
今度どのようにしますか

危険有害要因監査特定表

当月、当社で監視する危険有害要因は、以下の通りです。

工種	起こりうる危険有害要因	防止策	選定した理由
	交通事故の防止	横断歩道上での 歩行者への配慮 時間に余裕を持った 運行計画の実施	歩行者への安全確保 のため 安全な速度での 運転を行うため